

天下茶屋駅(南海本線・高野線)

名所旧跡の宝庫・紀州街道を歩けば

天下茶屋駅(地下鉄堺筋線) 北天下茶屋駅・天神ノ森駅(阪堺電車阪堺線)
岸里玉出駅(南海本線・高野線)

「大阪あそび歩マップ集」
その1 No.034

南海・地下鉄天下茶屋駅

①北天下茶屋駅

阪堺電気軌道阪堺線の停留場で
す。南海線・地下鉄堺筋線の天
下茶屋駅と北天下茶屋駅とを結
ぶ商店街は、昔ながらの懐かし
い雰囲気を色濃く残しています。

②聖天山正圓寺

元禄年間(1688~1704)に義道見
明和尚が中興しました。ご本尊
は木彫の大聖歓喜双身天王で、
これは日本最大級といえます。
また聖天山は標高14メートルの
大阪さつての低山で、正圓寺の
寺務所で記念の登山証明書を発
行してもらえます。



③紀州街道

かつて大坂と和歌山とを結んで
いた街道で、古くは住吉街道と
しても知られていました。元禄
14年(1701)以降は、紀州徳川家
の参勤交代や上使通行の道とし
ても使用されました。

④天下茶屋公園

地域住民の憩いの公園ですが、
古代の豪族・阿倍氏の氏寺・阿倍
寺の塔柱礎石がひっそりと安置
されています。また是斎屋跡の
石碑もあります。是斎屋は寛永
年間(1624~44)、住吉大社への
参詣(住吉街道)で往来する人々
に食傷の薬として「和中毒」を
売っていました。休息をとる人々

に薬湯をサービスして、大繁盛
したと古文獻に記録されていま
す。

⑤天下茶屋跡

豊臣秀吉が大坂城から住吉大社
や堺へと往来すると、必ずこの
界隈の茶店に立ち寄ったことか
ら天下人の茶屋、「天下茶屋」と
呼ばれるようになりました。昭
和20年(1945)の戦災に遭うまで
は、5000平方メートルにも及ぶ
広大な屋敷・小兵衛屋敷があり
ました。現在は往時を物語る広
場の土蔵と、350年生き続けるク
スノキの大樹があるだけですが、
秀吉が訪れた場所に立って天下
人の栄枯盛衰の歴史ロマンに浸
ってみてください。



⑥天神ノ森天満宮

応永年間(1394~1428)に京都・
北野天満宮の分霊を奉祀したこ
とに始まるといえます。境内に
は樹齢650年以上というクスノ
キの大樹があって、室町末期の
茶人・武野紹鷗が茶屋をつくり、
風月を友に静かに暮らしたので
「紹鷗の森」とも呼ばれました。
武野紹鷗の詫び茶は、弟子の千
利休へと引き継がれて、歴史に
名を残しました。

⑦天下茶屋の仇討供養塔

天神ノ森天満宮の境内にありま
す。慶長14年(1609)に父・林玄
蕃を闇討ちにした当麻三郎右衛
門を、玄蕃の遺児・重次郎と源
三郎の兄弟が9年間におよぶ苦
難の末に当地で見事に討ち取り
ました。江戸時代の代表的な仇
討ちとして非常に有名で、これ
を歌舞伎化した『敵討天下茶屋
聚』は人気演目にもなりました。

阪堺天神ノ森駅

